

経営比較分析表（平成30年度決算）

兵庫県 西脇市

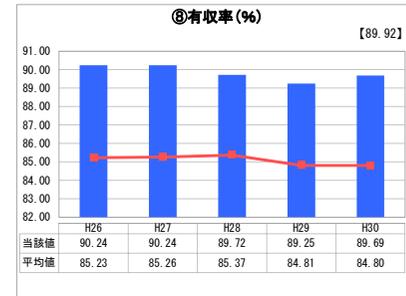
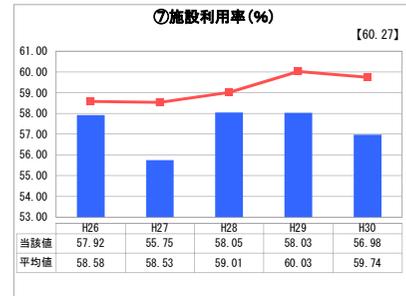
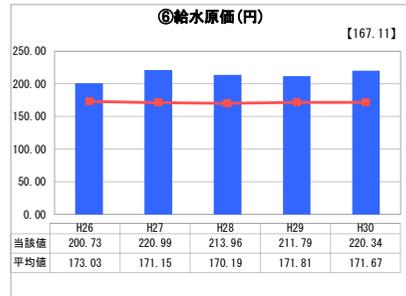
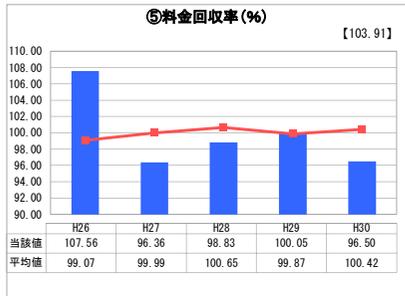
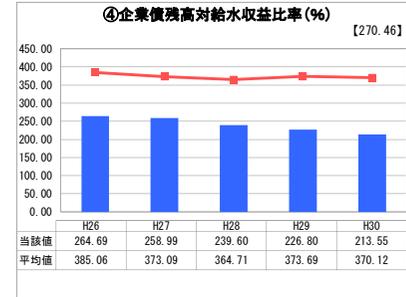
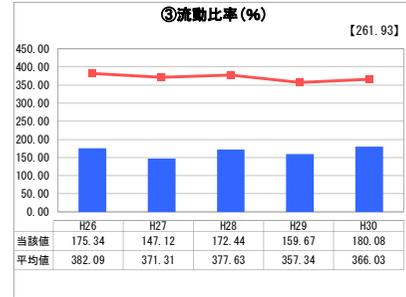
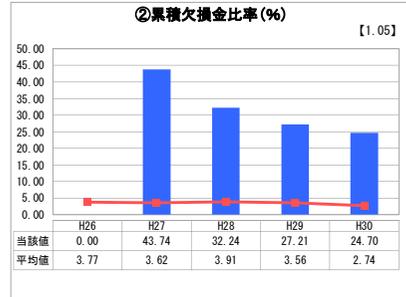
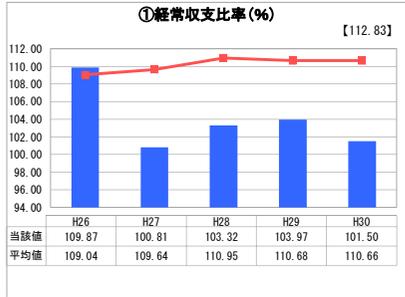
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	86.15	98.74	3,510	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
40,867	132.44	308.57
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
40,170	111.57	360.04

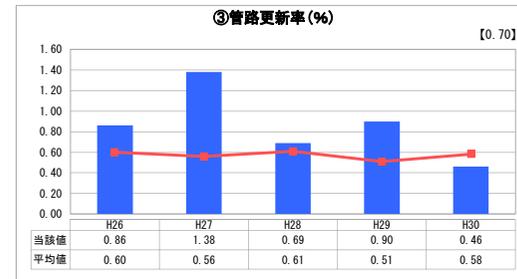
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、全国平均及び類似団体平均より数値は低いが、100%を上回っており、単年度の収支が黒字となっています。
 ② 平成27年度から新会計制度の適用により累積欠損金が発生していますが、毎年度の純利益により年々減少しています。
 ③ 流動比率は全国平均及び類似団体平均を下回っていますが、現金は増加傾向にあります。
 ④ 企業債残高対給水収益比率は、企業債の借入額よりも償還のスピードが速くなったため、全国平均及び類似団体比率を下回っています。
 ⑤ 料金回収率は、給水収益が減少したことにより、昨年度より減少し、100%を下回っています。
 ⑥ 給水原価は、全国平均及び類似団体比率を上回っており、更なる維持管理費用の削減が必要です。
 ⑦ 施設利用率は全国平均及び類似団体比率を下回っていますが、春日浄水場の廃止により数値の増加が見られます。
 ⑧ 有収率は、全国平均をわずかに下回っていますが、類似団体比率では上回っています。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、年々上昇していますが、類似団体や全国平均よりは低い状況になっています。
 ②③ 管路経年化率及び管路更新率は、全国平均及び類似団体比率を下回っています。今後耐用年数に達し更新時期を迎える管路の増加が見込まれます。

全体総括

西脇市では、近年、県営水道の受水施設整備、浄水場新設工事、水道管の耐震化工事など施設整備を進めてきた結果、減価償却費の増加により費用が増加傾向にあります。
 水道料金収入も減少していることから、経営戦略に基づき、施設の更新に優先順位を付け、的確に効率良く運営していきたいと考えています。